

おおさき 議会だより



志布志湾の風物詩 シラスウナギ漁

12月定例会

こんなこと決めました

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| ● 決算審査特別委員会…………… 2 | ● 町政を問う（一般質問）…………… 6 |
| ● 令和7年度補正予算…………… 4 | ● インタビュー（ピックアップおおさき）…………… 13 |
| | ● 町民の広場・編集後記…………… 14 |

ように使われたか？

令和6年度 大崎町一般会計・特別会計 歳入歳出決算審査

(9月26日から10月15日までの20日間実施)

認定

歳 入

令和6年度一般会計決算における収入済み額は、167億7,471万1,248円で、予算現額168億5,787万9,000円に対する収入割合は99.5%であり、おおかた収入は確保されており、予算の執行において影響はなかったものと判断される。

予算額に対し、**99.5%**の収入を確保

町税は、町財政の根幹をなす重要な財源であり、住民の公平負担の原則から、安易に時効完成による不能欠損を生じさせないように、今後も納期内納付の推進と納税意識の高揚に努められたい。

歳 出

次年度施策への要望

きれいな川を守るために 河川水質検査について、新たに水質汚染が懸念される場所があるときは、検査箇所を変更するなど柔軟な対応を要望する。

美しい遺跡を未来に継承 横瀬古墳等の草刈り委託業務について、物価高騰等の現状を踏まえ委託先と協議し、委託料の見直しを検討されたい。

子どもに広く学べる場を 今後は英語検定に限らず、漢字検定・数学検定等の助成も実施すべきであり、多くの子どもたちが広く学べる場を提供できるよう要望する。

よりよい未来の農業のために 構造改善センター管理委託については、管理を組織化する方策の検討が必要である。また、サツマイモ基腐病補助金については、明確に検証するよう要望する。

住宅困窮の解消に向けて 町道等の伐採作業について、特に通学路はこまめな点検・対応を実施されたい。また、公営住宅の困窮については、需要に対応した解体新築等を検討されたい。

人口減少に歯止めを 移住定住対策事業については、さらなる周知をはかるため、工夫した情報提供に取り組み、「持続可能なまち」実現に向け努められたい。

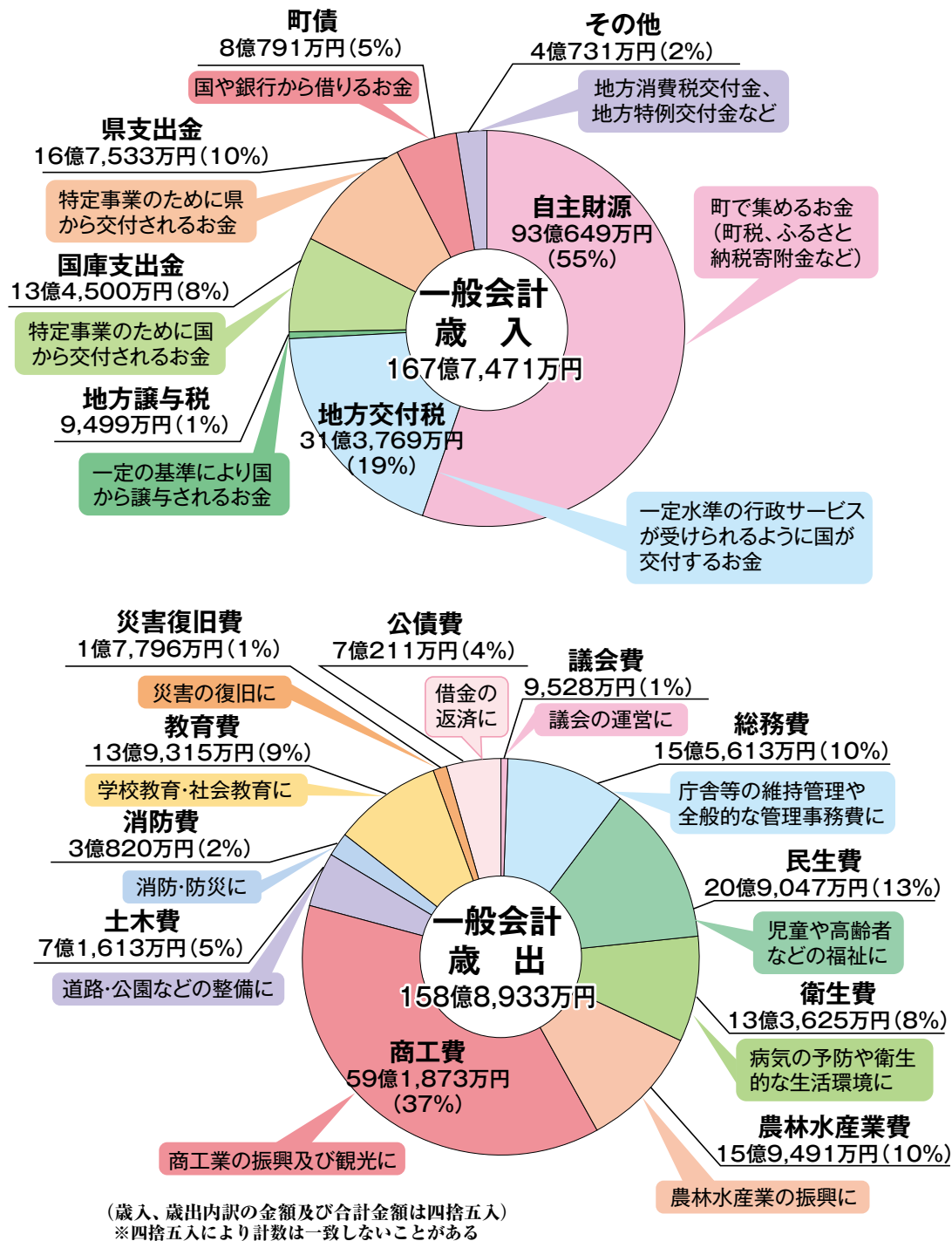
24時間無料で医師へ相談 未就学児のいる世帯がスマホを使用して24時間365日無料で医師に相談できる医療相談アプリについて、アプリの登録者数増加につながるよう、周知方法等を工夫されるよう要望する。

荒廃農地の解消に向けて 耕作放棄地が増加傾向にあるが、農林振興課とも協議し、耕作放棄地や遊休農地が農業法人等の耕作地に隣接するようであれば、情報提供し削減に努めるよう要望する。

地域の賑わいを目指して スポーツ観光事業関係について、地域の賑わいや地域経済の活性化等を考慮し、地域おこし協力隊や商工会、関係団体とも連携したイベント等の開催を要望する。

団員確保と活動内容の改善を 消防団員確保等について、団員の処遇改善や消防団活動の内容改善など、消防団とも連携し、消防団に加入しやすい環境整備に向けた検討をされたい。

わたしたちの税金はどの



令和6年度一般会計・特別会計の決算状況

(単位: 円)

項 目	歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計	16,774,711,248	15,889,331,158	885,380,090
国民健康保険事業特別会計	1,761,473,298	1,749,058,460	12,414,838
介護保険事業特別会計	2,079,095,182	1,890,565,880	188,529,302
後期高齢者医療特別会計	231,241,600	226,302,060	4,939,540

総務厚生常任委員会補正予算

議案可決

畜産関係伝染病予防のための
車両消毒場 900万円

質問 9月補正で2400万円、さらに12月で900万円増額となっている。農業公社整備時に消毒場を含めた一体的土地利用計画はなかったのか。

答弁 今回の予定地は賃貸借契約締結の農地であったため、農業公社整備時点で用地取得は困難であった。関係機関とも事前協議の上、積算されるよう要望した。



整備予定地（農業公社前）

老朽化したキャンプ場展望台撤去 1300万円



キャンプ場敷地内にある展望台

質問 工期見込みとキャンプ場使用制限の有無は。

答弁 工期は1か月程度と見込んでいる。使用制限は施工業者やキャンプ場の管理者と協議し決定していく。

ふれあいの里公園駐車場拡充用地購入 50万4千円

質問 取得予定地は、宅地筆、山林二筆である。立地条件を考えると安価と思われるが、何か理由があるのか。

答弁 地権者から土地を有効活用してほしい旨の相談があり、総面積に山林買取単価に平方メートル当り300円を乗じた額を予算計上した。



ふれあいの里公園駐車場予定地

質問 ふれあいの里公園の駐車場として活用のことだが、駐車場に屋根を付け、ソーラーシステムを設置する考えは。

答弁 公園内にある総合体育館は、避難所とした防災拠点になるものと思われるため、国土強靱化も念頭に入れ、検討していく。

消防施設修繕料

100万円

質問 消防施設に係る修繕料ということで、防火水槽の漏水修繕も含まれていると思うが、各消防分団からの要望に応えられているか。

答弁 要望を受け、現地を確認し、緊急性や必要性を考慮し、対応している。

有害鳥獣電気柵等設置補助金 40万円

要望 本事業は有害鳥獣対策として有効で需要も高いと思われるため、住民ニーズに即座に対応できるよう、当初の段階で十分な予算を確保されるよう要望しました。

特別委員会 くにの松原キャンプ場 益丸プール

指定管理者を否決

賛成・反対で白熱

令和7年12月定例会において「くにの松原キャンプ場・益丸プール」の指定管理者の指定に関する議案が提出され、慎重審議するため特別委員会が設置されました。

この議案は両施設を令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間で毎年

くにの松原キャンプ場

305万円（6年度実績）

益丸プール

176万円（6年度実績）

で、アウトドアネット

ワーク株式会社を指定管

理者とするものです。

特別委員会では、担当課長から両施設の業務の状況、収支状況などの資料提出及び説明を求め審議いたしました。

審議では、

- ・町補助金と収支の実態
- ・利用者数と料金収入の整合性
- ・資料提出と審査プロセスの透明性
- ・実績報告書の確認と課題
- ・施設の衛生管理

など各議員から多角的な意見や指摘がなされ3議員から討論があり採決の結果、否決となりました。



審議対象のキャンプ場

キャンプ場

反対討論 中山美幸議員

会計上の不備、本町が求める形での管理がなされていない。また議会で改善を求めた改善策が実行されていないことを受け反対する。

賛成討論 藤田香澄議員

町で設置された指定管理者選考委員会の議事録から、令和8年度収支予算など適切な計算がなされている。審査委員会は適切かつしっかりと結果が出されていると思われるため賛成である。

反対討論 稲留光晴議員

会計報告と監査など報告義務がある。キャンプ場収支について、委託料が適正な金額なのか、会計上問題を含んでいる意味合いから反対である。

益丸プール

反対討論 中山美幸議員

プールの監視業務をカメラ画面で行っていることと、経営上の問題以前に人命尊重の意味合いからも、管理に不備があるため反対である。

反対討論 稲留光晴議員

利用者の命を守る重要性和と、また会計的にも不備があるため反対である。

特別委員会での採決結果

議員名	藤田	岡元	富重	児玉	稲留	神崎	宮本	中倉	中山	鷺東
議案										
キャンプ場指定管理者の指定について	○	○	●	●	●	○	欠	○	●	●
プールの指定管理者の指定について	退	●	●	●	●	●	欠	●	●	-

●は反対 ○は賛成

キャンプ場議案は賛成反対同数のため鷺東委員長採決
※退は採決時委員会室より退席し採決に不参加

一般質問

こ だま たか のり
児 玉 孝 徳 議員

・本町の少子化と学校経営



P 7

なか やま み ゆき
中 山 美 幸 議員

・オオサキポイント事業及びマネーポイント事業
の目的



P 8

おか もと しゅう いち
岡 元 修 一 議員

・ICT時代における子どもの健全育成と
地域の支え
・地域、学校協働教育プランの目的と位置付け



P 9

わし とう しん いち
鷺 東 慎 一 議員

・第4次教育大綱の進む方向性と第3次の
評価・検証



P 10

いな だめ みつ はる
稲 留 光 晴 議員

・オオサキポイント運用



P 11

二次元コード※をスマホ等で読み込むと
各議員の一般質問を視聴できます。

※バーコードを拡張するために開発された二次元
コードは、端末を使って簡単にコードを読み取る
ことができます。

5議員が登壇

町政を問う

一般質問とは

町長などの執行
機関に対し、業務
の執行状況や将来
の方針などについ
て議員個人として
政策論争を行うも
のです。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111 (内線 310・311)

学校規模適正化の検討状況は

意見や要望を伺い検討する



こだま たかのり 議員
児玉 孝徳

問 本町の児童・生徒数の現状と、今後の推計は。

児童生徒数は減少傾向

答 教育長 令和7年度の児童生徒数は869人で、令和6年度に出生した子どもが、小学1年生として入学する令和13年度の推計は、213人減の656人となる。

少人数化の影響はあるか

問 少人数化は教育活動や学校運営にどのような影響があるのか。

学びが深まらず部活動なども困難

答 教育長 児童生徒への影響はクラス替えがなぐ人間関係が固定化する。多様な意見や考えに触れることが難しく、考えの広がりや学びが深まらない他、部活動などが困難になることが考えられる。

小規模化対策の成果は

問 本町ではICT端末の活用や教科担任制の導入など、小規模化による影響への対策を進めているが成果と課題は何か。

6校での小学校間交流などで成果を上げている

答 教育長 教師の授業力向上として複式学習指導の研修を開催している。

音楽やSDGs発表会、陸上記録会、小学校6校での交流など行い、人間関係の形成に努め成果を上げている。学校間のオンライン交流、教育業務支援員の配置など人的支援を研究していく。

児童生徒数の推移(令和13年度は推計値)

学校名	令和7年度	令和13年度
大崎小	295人	206人
菱田小	49人	47人
中沖小	52人	37人
持留小	26人	19人
大丸小	50人	25人
野方小	86人	44人
大崎中	311人	278人
計	869人	656人

将来的な学校規模の適正化の検討状況は

問 町全体の児童生徒数推移と学校配置の在り方について、どのような検討を進めているか。



陸上記録会

意見や要望を伺い実情により判断し検討する

答 教育長 学校規模の適正化は教育条件の改善を中心に、地域コミュニティの核として防災・保育・交流の場でもあり、保護者や地域住民の意見や要望で実情により判断し、統廃合を含めて検討していく。

定住につながる教育施策ができていますか

問 移住を検討する世帯が重視する点は、学校教育の水準、ICT環境、少人数教育のメリット、学びの特色などが挙げられているが、町の魅力として定住につながる教育施策がどれだけ発信できているか。

特別教育支援員の配置で高い評価を得ている

答 教育長 英語力向上のアドバイザーを委嘱し、教員の授業改善や児童・生徒の英語力向上、AIソフトの導入など推進している。ICT機器の設置や特別教育支援員の配置で高い評価を得ている。このような施策が教育の魅力として定住促進につながると考える。

※ICTとは、情報通信技術のこと。

ポイント事業の目的は何か

地域経済の活性化が目的



なかやま 中山 美幸 議員

問 新規事業であるオオサキポイント事業が現在進行中であるが、住民や加盟店などから、様々な意見を聞く。事業の目的、効果は何か。

経済の地域内循環 デジタル情報格差対策

答 町長 住民の健康、経済の循環、この事業を機会にスマートフォンを購入していただき、デジタルデバイス情報対策などの問題解決を目指す。

商工観光課長 11月20日から運用開始し、12月8日までに3500万円が消費されている。

不具合が指摘されている対策はどうか

問 加盟店からメールが届かない、加盟店にメールが届いたか否かの確認も無い、IDが届かない。他店名で売り上げが表示される。加盟店などの情報流失など安全対策に大きな問題が懸念される。トラストバンクとの委託契約書の提出を求める。

不具合は把握していない

答 町長 全国で53団体が実施している。指摘された事は把握できていないので確認する。

住民が得たポイントは税制上の問題はないか

問 住民の得たスマホ購入助成、取得ポイントは現金と同様と思われる。税制上の問題はないか。

一時所得として申告義務がある

答 税務課長 税制上は一時所得となり、課税されるかどうかは解らないが申告義務が発生する。

事業の総金額はいくらか

問 スマートフォン購入助成、事業委託先トラストバンク支払いを含む全ての事業費はいくらか。

総額7億855万2千円

答 総務課長 トラストバンクとの委託契約金、健康アプリ総額など、総額7億855万2千円であり844万1千円が国の助成金である。

オオサキポイント事業に係る総事業費

(単位: 千円)

総務管理費	21,650	人件費・商工会委託料・通信運搬費	21,650
地域ポイント発行	118,000	1万円×11,800人	670,020
地域ポイントチャージ	519,200	5万円×11,800人×80%×1.1 見込み	
地域通貨導入ポイント	28,320	3千円×11,800人×80%	
健康ウォーキングポイント	2,500	1,000円×500人×5ヶ月	
スマートフォン購入助成	2,000	20,000円×100人	
デジタル通貨導入委託料	12,152	chiica 導入・システム利用・ATMチャージ手数料など	12,152
健康アプリ導入委託料	4,070	健康アプリ導入・プロジェクト管理費など	4,070
健康アプリ協同利用負担金	660	アプリを利用する全国3団体頭割り	660
オオサキポイント事業 合計			708,552

スマートフォン購入者に負担がある

問 今まで必要を感じず、新たにポイント事業のため、スマートフォンを購入された場合、必要でなかった通信料が発生し負担になっているのではないか。

デジタルデバイス情報格差対策も目的である

答 町長 利便性の向上や新たな価値創造など、大きな目的もある。



スマホへのアプリ導入について支援(朝市)

※後日提出されたトラストバンクとの委託契約書では加盟店などの情報漏洩について、保障など記述は見えなかった。

ネット渦から 子どもたちをどう守る

依存を防ぐ学習環境の 充実を進める



おかもと しゅういち 議員
岡元 修一

**依存による健康被害の
実態及び対策は**

問 睡眠不足や集中力低下について、どのような把握や対処がなされているか。

**アンケートによる確認
個別指導を行っている**

問 国際的にスマートフォン等による情報過多の弊害から子どもを守る取り組みが進む中、本町の認識は。

強く関心をもっている

答 教育長 便利かつ有効な道具だが、一方、学校においては、SNSによる誹謗中傷や心身の健康被害などの情報も聞いている。

読書時間減少にどのような危機感をもっているか

問 新聞紙上に掲載された「読書をしない子10年で1.5倍」との記事をどう捉えるか。

正答には読書時間が重要な役割を果たしている

答 教育長 30分以上読書する統計は、左記の通り。

小学6年生	
大崎町	29.6%
鹿児島県	34.9%
全国	31.1%
中学3年生	
大崎町	19.2%
鹿児島県	27.2%
全国	21.4%

相関関係では、正答率の高い子どもは読書時間が長いという結果が出ている。

デジタル機器と読書習慣の共存どう行っていくか

問 読書を楽しいと思わせる工夫と家庭での読書時間の確保をどう促すか。

機器の活用と読書の習慣化を並行して推進する

答 教育長 「第5次大崎町子ども読書活動推進計画」に基づき、1日20分間読書活動を進めていく。



日本小児科医会資料より転載

郷中学舎の内容及び展望と課題は

問 地域の見守りを受けながら個別最適な学びを放課後実践するとなっているが。



持留小学校(郷中学舎)

**次世代の人づくり体制が
整いつた第他校でも実施**

答 教育長 「第4次大崎町教育振興基本計画」に基づく、学習支援活動の実施である。2小学校は三学期中の開設を目指しており、大崎中学校は諸条件を検討中。最大の課題は、地域協力員の人材確保である。

第4次教育大綱の方向性は

夢や希望を持ち
未来をつくる大崎の教育



議員 慎一 東 しょういち

問 期間を迎えた第3次教育大綱の評価・検証並びに、新しく策定された第4次教育大綱の進む方向性は。

5つの方向性に基づく
27施策を展開

答 教育長 「夢や希望を持ち、未来をつくる大崎の教育」を基本理念とし、主体的に学び、共に支え合う人づくりを目標に5つの方向性に基づく27施策を展開している。



療育事業所「はぐはぐ」(大崎町井俣)

第3次大綱の成果は「人間性豊かでたくましく生きる人づくり」を目標に24施策を実施、GIGAスクール構想・校舎改修・部活動地域移行検討を実施、外部評価委員会による年次点検を継続する。

不登校児の現況と対策は

問 不登校児の現況と支援状況や対策及び適応指導教室設置の必要性を踏まえた障がい児支援の校内教育支援センター・特別支援学校等を含んだ現況と進捗状況は。

小学生5名・中学生14名

答 町長 障がい児支援事業施設「はぐはぐ」の利用者は町内外102名(町内児童は35名)新規事業所の開設が急務で、空き校舎活用等を検討中。

教育長 30日以上欠席している小学生5名・中学生14名、教育相談室で月平均40〜50名が利用している。校外の教育支援センター「なないろキャンパス」では、小学生1名・中学生3名が利用し、スタッフ6名を配置している。小学校への相談員拡充は人員不足で未計画。

いじめ・児童虐待対策は

問 いじめ対策の進捗・児童虐待対応及び障がい児支援の状況は。

10件の虐待事案を受理

答 町長 通報25件中10件を虐待事案で受理、要保護児童対策協議会で関係機関連携し見守りを継続。

教育長 いじめ認知件数は小学生32件、中学生54件で些細な事案も積極的に認知、対策として「担任↓管理職↓教育委員会」の迅速な報告フローを確立、大事案は未発生である。

学力調査の分析と対策は

問 全国学力調査の結果、特に鹿児島県は学ぶ力が落ちていると報道があるが、学力向上の現況と進捗状況及び今後の対策は。

全国や県平均を下回る

答 教育長 全国や県の平均を下回っており、長文読解力不足や記述式正答率が低く上位層が少ないのが課題で、対策としてICTや個別指導を強化し、毎年大隅地区の研究指定を受け、本年度は野方小で算数の研究指定を実施中。

令和6年度 学力調査結果【数値は正答率】

小学校	国語	算数
町平均	64 (62)	54 (60)
県平均	69 (67)	62 (61)
全国平均	67.7 (67.2)	63.4 (62.5)
中学校	国語	数学
町平均	52 (69)	43 (46)
県平均	56 (70)	50 (48)
全国平均	58.1 (69.8)	52.5 (51.0)

※ () 内の数値は令和5年度

※その他の質問
教育環境整備の具体策は
教員不足への対応・負担軽減策
マル大崎の学びの場の活用方法

オオサキポイント運用 住民からの感想は

スマートフォンで情報確認しやすくなり 災害時でも安心



稲留 光晴 議員
いなどうめ みつはる

ポイント運用で公平性と合わせて相談内容は

問ガラケーからスマホに変えられない、スマホが使えない方々とポイント運用での公平性と相談内容は。

操作方法やアプリのインストールは丁寧にサポート

答 ライン登録で情報、災害時での活用で安心できる

問 高齢者の方々から今までにない画期的であるとの良い評価を頂いている。住民からの感想は。

答 総務課長 スマホが苦手な人は、アプリのインストールや、初期設定に不安を感じるなどの相談である。職員は個別に操作方法、地域通貨アプリ「チーカ」、健康アプリ「まるけん」、公式ラインの登録や使い方など丁寧にサポートしている。

問 町が指定するアプリをインストールできる機種を購入とあるが、古いバージョンのスマホでアプリがインストールできないため、機種変更で新しいスマホを購入しな



個別相談会（ふれあいフェスタ会場）

しいスマホを購入しなければいけない方へも20000ポイント付与がなぜできないのか。

答 バージョンアップ作業でインストールが可能に

答 総務課長 スマホ機能のバージョンアップ作業でインストールが可能になることも確認できているので、今回のこの制度では、初めてスマートフォンを購入された方が原則になる。

バージョンアップができたことを確認しているか

問 相談された方は、バージョンアップできないため新しい機種を購入しないといけないと言われている。本当に担当課で確認しているのか。

不慣れな時期で勉強しながら取り組んでいた

答 総務課長 担当部署

の方でバージョンアップができないとの回答であったと思うが、職員においても導入当初は不慣れなところもありバージョンアップ手順は、日々勉強しながら相談者のサポートに取り組んでいた時期があった。もしかしたら今現在であれば対応できる可能性もある。

スマホへ変更された方の相談件数は何件か

問ガラケーからスマホへ変更された件数は。

25件である

答 総務課長 ガラケー、あるいは初めてスマートフォンを購入された方の相談件数は、現在のところ25件である。

明けましておめでとろございます



新春にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年を振り返りますと、国内外におきまして、様々な
出来事がありました。

国内におきましては、戦後八十年という節目の年であり、戦没者の方々のご冥福を心からお祈りしたいと思います。

また、高市内閣の発足、米価格の上昇、愛媛県・大分県等で発生いたしました大規模な火災などの数多くの災害が起りました。

国外におきましては、継続するロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、世界各地で紛争が勃発し、大規模な自然災害も数多く発生いたしました。

本町におきましては、物価高騰により、大変な年ではありましたが、町制施行九十周年式典も盛大に執り行われ、安堵しているところです。

今後とも、開かれた議会を目指し、住民の安全・安心な生活の実現のために、一生懸命取り組んで参ります。

最後に、町民の皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈りし、年頭のごあいさついたします。

大崎町議会

交通事故ゼロを目指す

山下幸雄さんに聞きました



(公財)鹿児島県交通安全協会
志布志地区協会 大崎支部
支部長 山下 幸雄さん

広報広聴常任委員会 委員長
岡元 修一 議員

岡元議員

交通安全運動推進協議会の役員になられたきっかけは。

山下さん

亡くなった父親が長年この活動に携わっていたこともあり、自分もその姿を見て引き受けました。役員になって10年を迎えます。

岡元議員

当協議会の活動は主にどのようなものがありますか。

山下さん

交通安全週間街頭立哨では、小学校前を重点的に行っています。このほか、小学校交通安全教室では、自転車を使って小学校全学年を対象に講習を行ったり、チャレンジ朝市では各校支部の役員でローテーションを組んで交通整理に当たっています。

岡元議員

県下二周駅伝大会の交通整理にも協議会で参加されそうですよね。

山下さん

今年は大崎町を通過するのは2月24日の予定となっていますが、今回は12名の役員が交通整理に協力してくれそうです。役員の皆さんには大変感謝しています。

岡元議員

当協議会の課題は何かありますか。

山下さん

この活動は交通安全協会費を納めていただいている会員の協力で成り立っています。しかしながら、役員の高齢化が顕著となってきたため、役員はもとより会員みなさんの活動に対する協力が必要と考えています。関心のある方はぜひお近くの役員にお声がけください。

岡元議員

町民のみなさまにお伝えしたいことはありますか。

山下さん

未だに飲酒運転やブレーキ・アクセルの踏み間違いなどの報道を目にします。誰もが交通事故の被害者・加害者にならないように、常日頃から交通安全ルールの順守を心がけていただきたいと思います。

◆山下さん、貴重なお話ありがとうございました。

●●●今月の表紙について●●●

本町は養鰻業が盛んであり、ふるさと納税でも主要な返礼品として活用されています。その原料の一つであるシラスウナギは、県知事の許可を受けられた採捕者が、期間限定で日没から日の出前までのみに漁をされており、志布志湾沿岸の冬の風物詩となっています。

私の想い

「二人でも多くの方に餃子を届けたい」



スズエの餃子
ひらやま 平山 智恵

ベントに出店し、声をかけ、一人でも多くの方に餃子を届けたい。その一心で走り続けてきました。

私が餃子屋を始めようと思ったきっかけは、幼いころから食べてきた母・スズエの餃子でした。家に帰れば当たり前のように食卓に並び、家族を笑顔にしてくれる味。このなじみ深く美味しい餃子を、これから先も残していきたい。その思いが、餃子屋の原点です。

3年目を迎え、少しずつ気持ちに余裕が生まれた今、餃子を通して地域ともっと深く関わっていききたいと考えるようになりました。免許の切り替えの場で知り合った、野方にお住まいの高齢者の方から「免許返納を考える年齢になり、買い物や食事をする場所が地域にほとんどない」「毎日の食事を考えるのが大変」と聞き、「来てくれると本当にありがたい」と言われた言葉が

心に残っています。

また、地域の子どもたちが、様々な世代と関わる機会が少なくなっていることも感じています。食を通して自然と集まり、会話が生まれ、顔の見える関係が育つ場所があれば、子どもたちにとつて大切な居場所になるはずです。その一歩として、買い物

難民地域を少しでも支える小さなマーケットを、まずは自分の地域から始めていと考えています。子どもから高齢者までが

安心して集い、楽しめるイベントを開き、餃子をきっかけに人と人がつながる輪を大崎町全体へと広げていく。それが、これからの私の挑戦です。



イベント出店の際に使用しているキッチンカー

編集後記

立春を迎えたとはいえず、なお余寒の厳しい日々が続いております。

さて、昨年12月に開会されました定例議会では、町政の重要課題について慎重な審議が行われ、すべての議案審議を終えることができました。

本号では、その12月議会の審議内容をお知らせしております。今後も、議会での議論や決定事項を分かりやすくお伝えできるように、編集に努めてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご関心を賜りますようお願い申し上げます。

(中山美幸)

議会広報広聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岡元 修一 |
| 副委員長 | 中倉 広文 |
| 委員 | 中山 美幸 |
| 委員 | 宮本 昭一 |
| 委員 | 神崎 文男 |
| 委員 | 稲留 光晴 |

発行責任者

大崎町議会議長 吉原 信雄